



あの男が現れるまで、  
私たちは家族だった

第69回カンヌ国際映画祭  
「ある視点」部門審査員賞受賞

# 淵に立つ

浅野忠信 筒井真理子 古舘寛治

太賀 三浦貴大 篠川桃音 真広佳奈

監督・脚本・編集 | 深田晃司「歓待」「ほとりの朔子」「さようなら」

主題歌 | HARUHI「Lullaby」(Sony Music Labels Inc.)

小説 | 「淵に立つ」深田晃司著 (ポプラ社刊)

配給: エレファントハウス、カルチャヴィル 英語題: HARMONIUM 2016年/日本・フランス/日本語/ヨーロッパ・Vista/DCP/119分

助成: 齋文化庁文化芸術振興費補助金 ©2016映画「淵に立つ」製作委員会/COMME DES CINEMAS fuchi-movie.com



# 未だかつて誰も見たことのない “家族ドラマ”に、世界が熱狂! 絶賛!

静かに燃え上がる罪と罰の物語。  
ロベール・ブレッソンや  
大島渚を彷彿とさせる!

Variety誌

愛や血のつながりで結ばれた関係が  
いかに脆いかをじっくりと描いている。  
最後まで目が離せない!

SCREEN Daily誌

怒れる映画作家!  
辛辣なメロドラマで見る者の  
心を激しく揺さぶる。

Le Monde紙

なんという衝撃の結末!  
日本で最も創造的な  
映画監督の1人だ。

The Hollywood Reporter誌

俳優たちが見事!  
古舘は胸をえぐるような  
演技を披露し、  
筒井の演技のセンスは完璧に近く、  
さらに、浅野は圧倒的な  
存在感を見せている

Variety誌

## カンヌが20年ぶりに発見した! 初ノミネートで初受賞の快挙! 世界を挑発する日本の新世代・深田晃司監督

『歓待』(11)、二階堂ふみ主演『ほとりの朔子』(14)、平田オリザの戯曲映画化『さようなら』(15)など、一作ごとに人間ドラマの新たな地平を切り拓き、30代の若さで世界の映画シーンにその名を刻み続ける深田晃司の最新作が、カンヌ国際映画祭に初参加でいきなり公式部門にノミネートされ受賞を果た

した! 黒沢清、是枝裕和などカンヌ常連組に仲間入りし、河瀬直美監督『萌の朱雀』(97)が脚光を浴びて以来、久々に登場した日本の新たな才能に、世界中が熱烈な期待を寄せている。

## 崩壊した家族に、光は射すのか—— 圧倒的な人間描写で“家族”を問い直す、2016年最大の衝撃!

郊外で小さな工場を営む夫婦とその一人娘。ある日、夫の旧い知人で前科を持つ男がやって来て、奇妙な共同生活が始まるが、やがて、男は残酷な爪痕を残して姿を消す。それから8年。夫婦は皮肉なめぐり合わせにより、男の消息の手がかりをつかむ。だが救いのように見えたそれは、夫婦にとって互い

の心の奥底を覗き込む行為に他ならなかった…。

怪しくも魅力的な行まいで家族を翻弄する男を演じるのは、『私の男』『岸辺の旅』やマーティン・スコセッシ監督『沈黙』などに出演し、国際的に活躍する浅野忠信。夫婦役には、古舘寛治が寡黙さの内

に覚悟を秘めた夫役で新境地を見せ、筒井真理子が妻の心身の変化を凄まじいまでの説得力で体現する。製作陣には、日本で大ヒット&世界45か国で上映された映画『あん』の主要メンバーが揃い、日仏合作となる本作は、完成直後から、世界各国より上映のオファーが相次いでいる。

# 淵に立つ

監督・脚本・編集: 深田晃司

出演: 浅野忠信、筒井真理子、太賀、三浦貴大、篠川桃音、真広佳奈、古舘寛治

主題歌: HARUHI Lullaby (Sony Music Labels Inc.) 小説: 『淵に立つ』深田晃司著 (ポプラ社刊)

配給: エレファントハウス、カルチャヴィル 英語題: HARMONIUM 2016年 / 日本・フランス / 日本語 / ヨーロピアン・ウィスタ / DCP / 119分

©2016映画「淵に立つ」製作委員会 / COMME DES CINEMAS fuchi-movie.com

10.8(土)  
ROAD SHOW